



みなみながさき

豊島区立南長崎幼稚園
園長 見米 葉記

幼・小連携を考える。その2

—小学校との望ましい接続を目指して—

幼稚園経営支援員 飯島光正

今年の夏は過去に例がないほど猛暑日が多く、その数は30日を越えるほどでした。

本園では、夏休み中に「プール開放」を実施し、多くの園児や地域の未就園児が幼稚園を訪れました。保護者の皆様と子どもたちが楽しそうに水遊びを行っている姿に「やってよかった」と実感した「プール開放」でした。

さて、園だより6月号に引き続き幼・小連携教育について述べたいと思います。

幼稚園での学びは「遊びを通した学び」です。小学校に入学すると「教科の学び」が始まります。

本園では小学校への橋渡しとして幼児期に培った「意欲・好奇心・人間関係スキル」を小学校で活かせるようにしています。幼稚園では学びの連続性を尊重し、幼児期で培った「学びの芽」を小学校で途切れさせず伸ばすよう指導しています。そのことがのぞましい接続につながると確信しています。

10月の指導のねらい

- 4歳児**
 - ・屋外でのびのびと身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
 - ・友達との関わりの中で、自分の思いを出したり相手の気持ちを聞いたりしようとする。
 - ・遊びの中で友達とイメージがつながる楽しさを感じる。
 - ・身近な自然の変化に気づいたり、遊びに取り入れたりして楽しむ。
- 5歳児**
 - ・積極的に体を動かし、自分の力を発揮する喜びや友達と力を合わせて取り組む楽しさを味わう。
 - ・友達と思いを伝えあいながら様々な方法でイメージや目的を実現し、一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・秋の自然物に関心をもち、自分たちの遊びに取り入れて遊んだり観察を楽しんだりする。